



COMSOL Days技術セミナー

「音-構造振動の連成解析の基礎から応用」第1回開催のお知らせ

主催 計測エンジニアリングシステム株式会社 (COMSOL Multiphysics®国内販売総代理店)

先進的な社会においては人のくらしが豊かになればなるほど、技術的な先進性以上に、快適な環境の提供との中で人がいかに住みやすいかといった感性面での高度化がより強く求められます。音や振動は人の五感に直接かかわるものであり、この分野で高度な技術開発を行うことは企業が人と共存し生き残っていくために必須の課題です。音や振動は繊細な内容を理解しておく必要があり、専門家の知識・経験を十分に学んでおくことが課題解決への近道となります。

そこで、本セミナーでは、この分野の第一人者である明治大学特任教授 萩原一郎先生 (明治大学先端数理科学研究所前所長、現在、同研究所/自動運転社会総合研究所研究所員) を講師としてお迎えし、2回シリーズでわかりやすく解説していただきます。今回はその第1回になります。この分野でのすべての技術を誘導する基幹技術であるモード重合法を解説していただきます。参加費無料。奮ってご参加ください。

日時：2018年**5月31日(木)** 13:30-16:30 (受付は13:15開始)

会場：アーバンネット神田カンファレンス ルーム3A (JR神田駅西口徒歩5分)

住所：〒101-0047 東京都千代田区内神田3-6-2 アーバンネット神田ビル

電話：03-3526-6800

セミナー講師：**明治大学特任教授 萩原一郎先生** (ほか)

(萩原先生のご略歴は裏面をご覧ください)

タイムテーブル：(※講義内容は都合により変更となる場合があります)

13:15- 受付

13:30-13:40 ごあいさつ

13:40-15:10 「音-構造振動の連成解析の基礎から応用」第1回

15:20-16:00 COMSOL Multiphysics®による音-構造連成解析

16:00-16:30 質疑応答

定員：40名(定員に達した際には締切ります。)

参加費：無料

講演概要：裏面をご覧ください

参考書のご紹介

「音・振動のモード解析と制御」
日本音響学会編、第3章、第5章
(萩原先生ご執筆)、コロナ社

【問合せ：申込み先】

音響・振動分野のセミナー事務局 平塚・小澤

e-mail : oto@kesco.co.jp

計測エンジニアリングシステム株式会社
東京都千代田区内神田1-9-5 SF内神田ビル5F
<http://www.kesco.co.jp/>

お申込ページ： http://www.kesco.co.jp/comsol_oto.html

◆◆◆COMSOL Days 技術セミナー第29回 (5月31日・東京会場) 参加申込書 ◆◆◆

会社名			
住所			
TEL		FAX	
氏名		E-mail	
所属 役職			

<講演概要>

モードの重畳で応答値を得るモード重合法は騒音振動解析に関わる全ての技術を誘導する基幹技術である。低周波は構造全体の応答を表し、高周波はローカルな応答を表し無視しても影響がないと考えられ、高周波をカットし、低周波だけで応答値を得るモード変位法は、19世紀から使用されていた。しかし、十分な精度に達しないケースもあることから、20世紀中頃、カットする高周波部分が補正されるモード加速度法が開発された。これにより応答値の精度も各段に向上し、NASTRAN[®]、ANSYS[®]、COMSOL Multiphysics[®]などの代表的な汎用ソフトで使用されている。

室内騒音では、音は低周波でもパネルのモードは高次のため、最低次から問題となる周波数域まで、全て正確に求める必要のあるモード加速度法では対応が困難となる。そこで、これまでの高次に加えて低次も省略する、一見無謀ともいえる馬一萩原の表現式を得たが、この表現式で、パラメータを変えるだけでモード変位法、モード加速度法も表現できることから、高次を省略する場合もモード加速度法より精度が向上する。馬一萩原のモード重合法をベースとする区分モード合成法や萩原一馬の固有モード感度式を誘導し、その優秀性を示す。

<萩原一郎先生ご略歴>

1970年 京都大学工学部数理工学科卒業。1972年 京都大学大学院工学研究科数理工学専攻修士課程修了

1990年 東京大学に博士論文提出（工学博士：機械工学）

1972年～1996年 日産自動車（株）総合研究所

1996年～2000年 東京工業大学工学部機械科学科教授

2000年～2012年 東京工業大学大学院理工学研究科機械物理工学専攻教授

2012年～現在 東京工業大学名誉教授、明治大学研究・知財戦略機構特任教授

2015年～2017年 明治大学先端数理科学インスティテュート所長

2011年～2017年 日本学術会議会員

2018年～ 明治大学先端数理科学インスティテュート所員／明治大学自動運転社会総合研究所所員

-中国における職歴-

哈爾濱工業大学顧問教授（1996年～1999年）、上海交通大学客員教授

兼 同大学騒音・振動・ハーシュネス(NVH)国家重点研究所

顧問教授（1999年、2001年～2002年）

清華大学安全重点研究所外国人評議委員（2000年～2003年）、天津大学機械工程学院

名誉教授（2004年～現在）、華中科技大学兼職教授（2008年～2011年）、

南京信息工程大学兼職教授（2010年～2012年）を歴任。

日本応用数理学会、自動車技術会、日本シミュレーション学会、米国機械学会、日本機械学会各フェロー。

日本機械学会論文賞3回（騒音振動2回、折紙工学1回）

自動車技術会論文賞2回（衝突1回、制御1回）

日本応用数理学会論文賞2回（騒音振動1回、折紙工学1回）

日本シミュレーション学会1回（リバースエンジニアリング）

日本計算工学会1回（リバースエンジニアリング）

SAE(SAE最優秀論文賞1回（騒音振動）

SAE : The Engineering Society For Advancing Mobility Land Sea Air and Space)

-これまでの受賞歴-

日本機械学会 計算力学部門業績賞・功績賞

日本機械学会 設計工学システム部門業績賞

日本機械学会 材料力学部門業績賞

日本機械学会 機械力学計測制御部門業績賞

自動車技術会 JSAE フェローエンジニア